

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 外部評価結果通知書

実施日時	平成27年11月4日(水) 16時20分～
実施場所	学校法人兵庫医科大学 第1会議室
評価委員会の構成 (五十音順)	大阪市立大学大学院医学研究科 研究科長 荒川 哲男 神戸大学大学院医学研究科 研究科長 片岡 徹 大阪大学大学院医学系研究科 研究科長 澤 芳樹 和歌山県立医科大学大学院医学系研究科 研究科長 山上 裕機 国立研究開発法人理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター長 渡辺 恭良
課題番号	S1201011
研究課題名	病原体とガンのアジュバントの研究拠点
研究代表者	兵庫医科大学・学長・中西 憲司
研究期間	平成24年～27年度
研究の概要	アジュバントは、タンパク質抗原に混ぜて生体に投与すると、抗原に対する免疫応答を誘導できる因子の総称である。タンパク質抗原はアジュバントなしでは、免疫応答を誘導できない。病原体に感染すると、宿主はこれを排除するために、病原体に応じた Th 応答を発動する。当該研究では、病原体やガン細胞が持つアジュバント因子を分子レベルで明らかにし、その作用機序を解明することを目的とする。さらに、免疫応答型に対応したアジュバント因子を用いた最適なワクチンアジュバントの開発と免疫制御法の確立を目的とする。

《評価結果》

評価項目	外部評価の観点	個別評価	評価内訳(人)
研究プロジェクトの目的・意義及び計画の概要	当初の(研究プロジェクトの)目的・意義をどの程度達成しているか。	a 大いに達成している	0
		b かなり達成している	2
		c 達成している	3
		d あまり達成していない	0
		e 達成していない	0
研究組織	研究組織は、当初計画と合致しているか。 研究代表者の役割、各研究者の役割分担は明確に定められているか。 責任体制は明確に定められているか。	a 大いに合致している	3
		b かなり合致している	2
		c 合致している	0
		d あまり合致していない	0
		e 合致していない	0
研究施設・設備	研究施設・設備は当初計画の見込みどおりすすんでいるか。	a 大いに進んでいる	0
		b かなり進んでいる	5
		c 進んでいる	0
		d あまり進んでいない	0
		e 進んでいない	0
研究成果の概要	優れた成果があがった点、あるいは問題点について言及されているか。	a 十分に説明の上、言及もされている	0
		b かなり説明の上、言及もされている	4
		c 説明の上、言及もされている	1
		d 説明や言及があまりなされていない	0
		e 説明や言及がされていない	0
「選定時」及び「中間評価時」に付された留意事項とそれへの対応	留意事項について十分に対応しているかどうか。	a 十分対応している	1
		b かなり対応している	2
		c 対応している	2
		d あまり対応していない	0
		e 対応していない	0

《コメント》

・研究組織として、当初計画と合致していると思われる。

FACS の有効利用が進んでいる。

IL-33 の活性に関する成果について、十分な説明があった。他のプロジェクトに関しての成果説明については、ポイントが明快ではなかった。

・今後、がん細胞 Adjuvant 及び Treg Adjuvant の研究成果をご教示できればと思います。

研究組織は十分機能していると考えます。

high quality の論文が数多く出版されています (PNAS など)。

・最終目的にいたるかどうかはまだ見えないが、中間目標としては達成している。

分担・責任体制について明確に定められている。

ワクチンアジュバントを開発する可能性は必ずしも明らかでない。

・寄生虫はほぼ達成している。がん細胞は未達成である。

責任体制は明確に定められている。

大学院生が加わってきている。

キチンについては成果があがっている。

がん細胞のほうはまだ進んでいない。寄生虫は進んでいる。

・高いレベルの研究が行われている。

Treg Adjuvant の成果が不明。内因性 Adjuvant (IL-33、IL-18) は解明されているが、がん細胞の生ずる Adjuvant 因子は同定されていない。